

令和7年度DXハイスクール 取組概要

継続 基本

山口県立萩総合支援学校
(公立・特別支援学校普通科)

AI時代の到来を見据えた障害のある生徒の自立と 社会参加の実現に向けた教育DX実践の推進



萩総合支援学校
マスコットキャラクター
“はぎみん”(デジタルアート作品)

取組

①デジタル発信力を育む！

自分で伝える力を育む情報発信活動を
基軸としたカリキュラムマネジメント



○「情報Ⅱ」および探究活動における学習の充実

「情報Ⅱ」や「総合的な探究の時間（デジタルツール活用分野）」における学習活動の更なる充実を図る。また大学や企業と連携し、外部専門人材を招へいすることで、生徒が高度なデジタルツールの活用を体験的に学べる機会を設定する。これにより、生徒の情報活用能力や探究的な学びの深化を図る。

○「デジタル人材育成カリキュラムマップ」開発に向けたカリキュラムマネジメント

多様な生徒の実態や特性に応じて、必要なデジタルスキルを段階的に習得できるよう、これまで扱ってきた教材や学習内容との関連を明確にし、系統的な配列を検討・整理する。

③学びの成果で地域に貢献する！

コミュニティ・スクールとの連携・協働体制を
生かしたデジタルに関する地域貢献

コミュニティ・スクールとの連携・協働体制のもと、地域貢献活動を積極的に推進する。教職員向けの研修に加え、地域の小・中学生や本校の保護者、地域住民を対象としたICT体験教室や研修会を実施し、地域全体のデジタルツールの活用力の向上を図る。生徒の主体的な学びを広く発信する機会として、各種コンテストへの参加を促進する。さらに、本事業における取組や学習成果を共有する場として、「はぎそうDXハイスクール事業実践報告会」を開催する。



②未来の仕事や生活を拓く！

デジタルツールの活用による
職業教育や自立活動の充実



交流先の高等学校でのデジタルツールを活用した授業体験やスマート農業等を行う企業での体験を通して、生徒の職業への興味・関心を醸成し、将来の就労に向けた意欲の向上を図る。生徒がもてる力を最大限に発揮できるよう、アバターロボットやデジタルミシン等の高機能なデジタル機器の活用を進め、作業学習に関する内容の充実を図る。また、アバターロボットによる遠隔学習の機会確保や、補助装置の開発・活用を通じて、肢体不自由のある生徒や登校が困難な生徒に対して、学習上・生活上の困難の改善と克服を支援する。



育成する生徒像・取組による効果

AI時代の到来が予測される社会において、プログラミング、デジタル機器等の活用や情報発信に係る情報活用能力を高めるとともに、高機能のデジタル機器等を活用した職業教育や自立活動の取組を通じて、自立と社会参加を目指す生徒を育成する。



情報Ⅱ等の履修率：0%（令和5年度実績値）
：100%（令和6年度実績値）
：100%（目標値）※令和7年度

全国情報教育コンテストへの参加人数
：0名（令和5年度実績値）
：0名（令和6年度実績値）
：5名（目標値）※令和7年度





継続
基本

山口県立萩総合支援学校
(公立・特別支援学校普通科)

AI時代の到来を見据えた障害のある生徒の自立と
社会参加の実現に向けた教育DX実践の推進

具体的な取組① **デジタル発信力を育む！** 自分で伝える力を育む情報発信活動を基軸としたカリキュラムマネジメント

障害の状態等に応じたデジタル人材育成カリキュラムマップの開発
～自分で伝える力を自分で育む情報発信活動を基軸として～

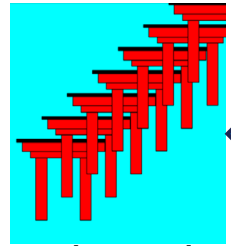
①「情報Ⅱ」および探究活動における学習の充実
令和6年度に開設された「情報Ⅱ」や「総合的な探究の時間（デジタルツール活用分野）」における学習活動の更なる充実を図る。
また大学や企業の支援による外部専門家を招へいし、デジタルツール活用に関する高度な学習活動を体験する機会を設定する。

情報Ⅱ	総合的な探究の時間 (デジタルツール活用分野)
知的障害のない生徒を対象	知的障害のある生徒を対象
- Pythonによるプログラミング学習（情報Ⅱのみ） - 高度なデジタル機器を活用したwebサイトやハザードマップの作成・発信 - 生成AIを活用したデジタルアートやデジタルサウンド等の作成・発信 - AIチャットボットを活用したコミュニケーション学習 - ドローンや3DMatterPortを活用した学校紹介VTR等の作成・発信 - プロジェクションマッピングの作成・発信	

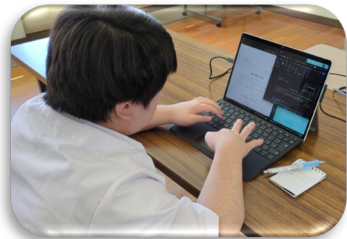


*赤字は外部専門家からの支援による学習活動

②「デジタル人材育成カリキュラムマップ」開発に向けたカリキュラムマネジメント
多様な生徒の実態や特性に応じて、必要なデジタルスキルを段階的に習得できるよう、これまで扱ってきた教材や学習内容との関連を明確にし、系統的な配列を検討・整理する。



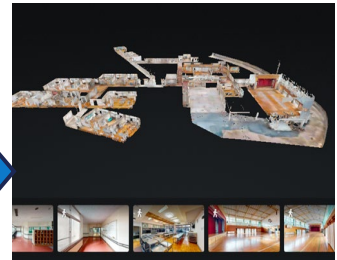
PythonTurtleで
作成した作品



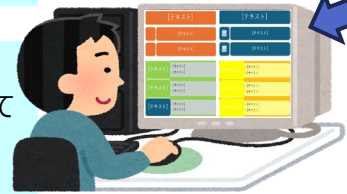
Pythonによるプログラミング



3DMatterPortカメラによる撮影



3DMatterPortによる
校舎の3D化



カリキュラムマップの作成



**育成する
資質能力** 障害の状態等に応じてデジタルツールを活用し、情報化社会へ主体的に参加できる生徒を育成する。

**取組による効果
(R7目標値)**

情報Ⅱの履修率：100%



継続
基本

山口県立萩総合支援学校
(公立・特別支援学校普通科)

AI時代の到来を見据えた障害のある生徒の自立と
社会参加の実現に向けた教育DX実践の推進

具体的な取組② 未来の仕事や生活を拓く！ デジタルツールの活用による職業教育や自立活動の充実

【デジタルツールを活用した交流及び共同学習や地域の産業現場体験の充実】
農業、商業、水産の学科のある高等学校でのデジタルツールを活用した授業体験を相手校の生徒と協働して取り組むこと、あるいはスマート農業等に取り組む企業での体験を通して、生徒の職業に関する興味・関心を醸成し、就労への意欲を高める。

【高機能のデジタル機器を活用した職業教育の充実】
アバターロボットによるリモート接客やキャッシュレス決済、デジタルミシンによる縫製作業、窓ふきロボット操作による清掃活動等を授業で取り組むことで、生徒がもてる力を最大限に発揮できる作業学習に関する内容の充実を図る。

【高機能のデジタル機器を活用した自立活動の充実】
アバターロボットを活用したリモート授業や校外学習の参加の機会の確保、生徒自身によるデジタル機器の操作が可能となる補助装置の開発を通して、肢体不自由のある生徒や登校が困難な生徒の学習上又は生活上の困難を改善克服するための学習を進める。

交流および共同学習＋産業現場体験	高機能のデジタル機器を活用した職業教育	高機能のデジタル機器を活用した自立活動
- デジタルツールを活用した授業体験を相手校の生徒と協働して取り組むことで、学習内容や学習活動への興味関心を高める。 - 外部専門家による授業を他の特別支援学校とオンラインでつなぎ共同実施することで、他校の生徒との協働的な学びを体験する。 - スマート農業やスーパーマーケットの商品管理等の見学や体験により、就労への興味関心を高め、意欲を喚起する。  高等学校（水産）との交流学习 商品管理システム見学	- アバターロボットを活用したリモート接客により一般の方との関わる機会を設定し、社会参加への意欲を高める。 - キャッシュレス決済や商品管理システムを導入することにより、対応の仕方を理解し、実践できる力を育てる。 - デジタルミシンによる縫製作業を通じて、創意工夫のある作品づくりに挑戦する。 - 窓ふきロボット等を操作することで、生徒自身が作業の効率化を考え、実践することができる力を育てる。  アバターロボットによる接客 キャッシュレス決済	- 訪問教育の生徒によるアバターロボットを活用したりリモートでの授業や校外学習の参加を可能とすることにより、生徒同士でのコミュニケーションスキルを高める。 - 登校の困難な生徒に分身ロボットによる社会見学等の機会を設定し、社会参加への前向きな気持ちを引き出す。 - デジタル機器の操作が可能となる補助装置の開発により肢体不自由のある生徒のもてる力を最大限に発揮できるようにする。  補助装置の活用 アバターロボットで授業参加



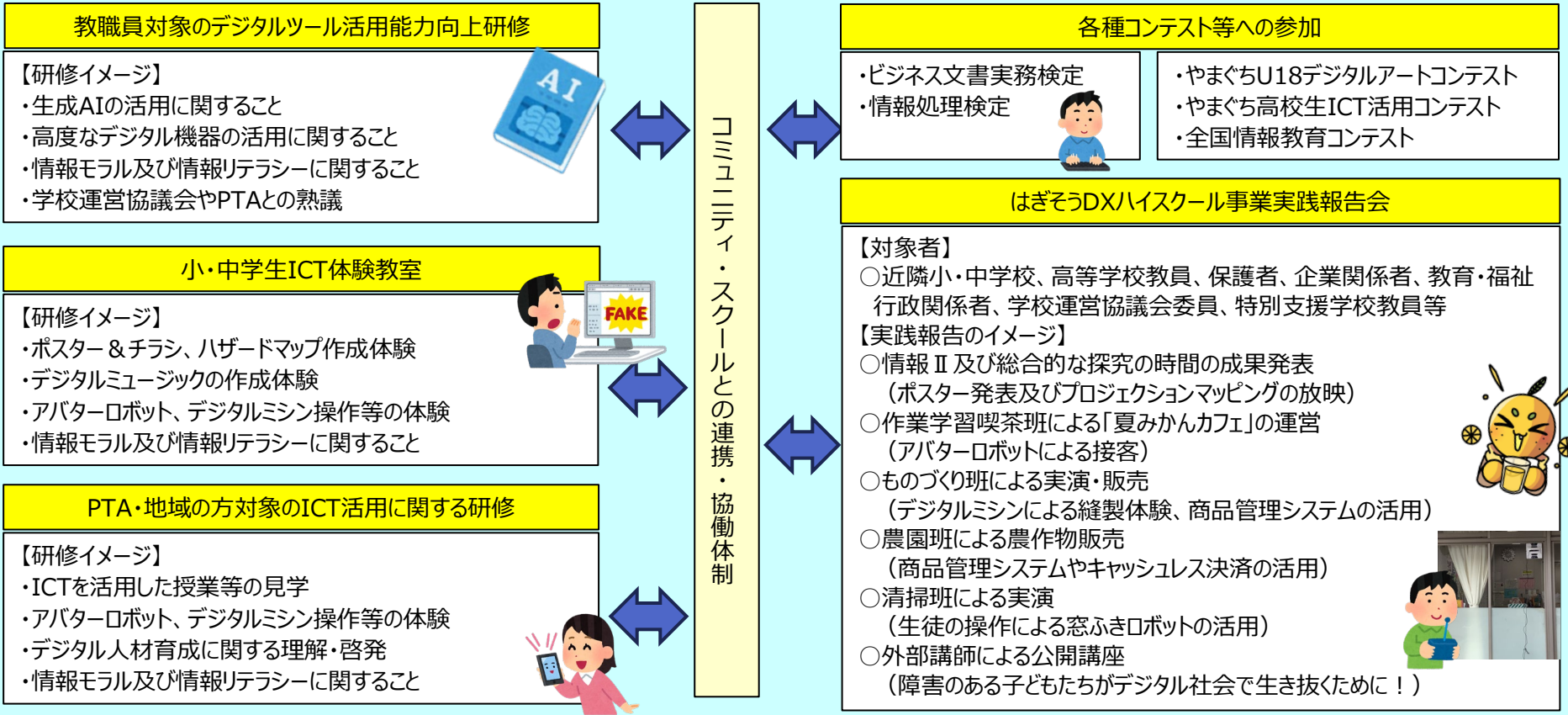
継続
基本

山口県立萩総合支援学校
(公立・特別支援学校普通科)

AI時代の到来を見据えた障害のある生徒の自立と
社会参加の実現に向けた教育DX実践の推進

具体的な取組③ 学びの成果で地域に貢献する！ コミュニティ・スクールとの連携協働体制を生かしたデジタルに関する地域貢献

コミュニティ・スクールとの連携協働体制による地域貢献活動を積極的に進める。具体的には、教職員を対象としたデジタルツール活用能力を高めるための研修に引き続き取り組む。また、地域の小・中学生、本校の保護者や地域の方を対象とするICTに関する体験教室や研修会を開催する。さらには、本事業の2年間にわたる教育DX実践推進の取組成果をもとに、各種コンテストにチャレンジするとともに、生徒の学習成果もあわせて広く発信するために、「はぎそうDXハイスクール事業実践報告会」を開催する。



育成する資質能力 デジタルツールを活用した学習の成果を発表し、地域の方に認められる経験を通して、地域でよりよく生きようとする生徒を育てる。

取組による効果 (R7目標値) 全国情報教育コンテストへの参加人数：5名